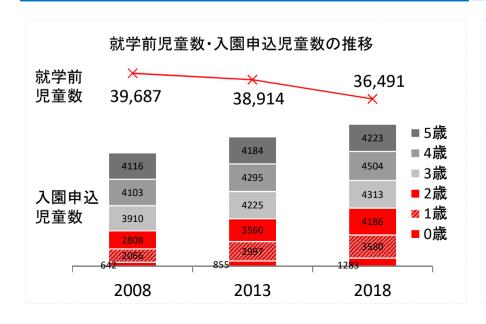
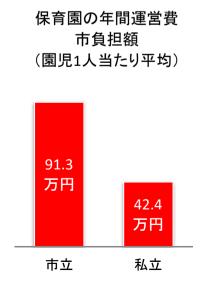
なんのために行うの?《計画策定の背景、現状と課題》

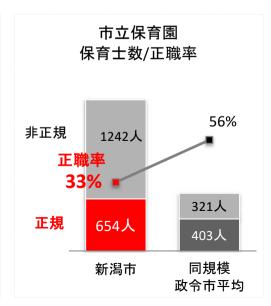
- 本市では、増え続ける保育ニーズに対応するため、民間の力を活用しながら、定員の拡充、サービスの拡充などに取り組んできました。
- 依然として、低年齢(0・1歳)児を中心に年度途中の入園は厳しく、希望の保育園に入園できない方がいるほか、今後も共働き世帯の増加等による保育ニーズの多様化なども予測されます。
- また、多くの市立保育園で老朽化等が進み、保育環境の改善が喫緊の課題となっています。
- これらの状況に適切かつ持続的に対応するため、これまで以上に民間の力を最大限活用し、市立保育園の適正配置を計画的に進めるため、平成30年10月に「市立保育園配置計画」を策定しました。

高い保育ニーズに対応するため行います。

将来にわたり、適切な保育サービスを提供するため行います。 (市立保育園数が多く、市の財政負担大。正職率の低さも課題。)







老朽化が進む、市立保育園の環境を改善するため行います。

(多くの市立保育園で、老朽化や低年齢児の受入スペース、駐車場の不足などが課題)

市立保育園・認定こども園の耐用年数到達時期一覧※1

		R2-6	R7-11	R12-16	R17-	
北	12	<u>太夫浜</u> 、 <u>越岡</u>	ちとせ、早通北、太田、 三ツ森、若葉	かやま、すみれ、二葉	早通南、木崎	
東	10	<u>山の下、大山、中野山</u> 、 <mark>石山</mark> 、第二中野山、 東中野山		山木戸、中山	大形、桃山	
中央	12	<u>しなの</u> 、 <u>山潟</u>	入舟	白山、敷島、流作場、長 嶺	八千代、万代 ^{※2} 、沼垂、 鳥屋野、ロータリー	
江南	13	両川、ことぶき、大江山、 <u>亀田第一</u> 、亀田第二、 <u>曽野木</u> ^{※3} 、 <u>第二曽野木</u> ^{※3}	亀田第三	横越双葉、亀田第五	横越中央、横越小杉、 亀田第四	
秋葉	5	<u>新金沢※4</u>		新津東、小須戸	金津、矢代田	
南	12	新飯田	臼井、にししろね、あじほ、 古川 ^{**4}	諏訪木、根岸、大通、月 潟	白根、大鷲、小林	
西	11	<u>内野、上五十嵐、坂井</u> 、 <u>坂井輪、小針</u>	大野、寺地、山田		興野、木場、黒埼なかよし	
西蒲	11			岩室、巻、松野尾、七浦、 なかのくち	和納、巻つくし、すわ、漆山東、漆山西、かきの実	
全区	86	24施設	14施設	22施設	26施設	

^{※1} 耐用年数は、木造30年、鉄骨50年で整理。下線は、令和2年4月時点で耐用年数を超過する施設。(ただし、全施設耐震改修済)

^{※2} 令和2年2月に、宮浦乳児と統合新設

^{※3} 令和4年4月に、統合・民営化予定 ※4 令和5年度末をもって閉園予定

何を行うの?《適正配置の方向性、市立保育園の役割》

- ◎将来にわたって安定的に保育サービスを提供するため、基本的な保育サービスは原則民間に委ねる こととし、市立保育園は条件が整い次第、順次閉園していきます。
- 市立・私立の保育サービス(内容、基準、保育料など)は基本同じであり、市立から民間に移行することで、持続的な保育サービスの提供と、多様化する保育ニーズに対応した柔軟なサービス提供の促進を図ります。
- ◎市立保育園は、地域におけるセーフティネット機能を果たすほか、市全体の保育の質の向上に資する機能を強化した「基幹保育園」の整備を進めます。
- 市立保育園の役割をより明確化し、総数を減らすことにより削減した資源(財源、人員等)を、医療的ケア児等の 受入や休日保育の実施など様々なサービスを行うための人材の確保や育成のほか、私立や認可外施設を含む 域内の保育施設の監査や指導体制の強化などに生かすことで、市全体の保育サービスの質の向上や、子育て 施策の充実につなげます。

最終的にどうなるの? ≪計画の目標、全体像≫

■計画の目標

施設	概ね20年後には、現在の半数程度とします。 (86施設 ⇒ 45施設程度)
職員	施設の減少と併せて適正配置を進め、正職率について、同規模政令市と同等の50~60%とします。 (正職率約3割 ⇒約5~6割)

早急に対応が必要な施設

1.	既に耐用年数を超過している	太夫浜、越岡、山の下、大山、中野山、石山、第二中野山、東中野山、しなの、山潟、両川、ことぶき、大江山、亀田第一、新金沢 、新飯田、内野、上五十嵐、坂井、坂井輪、小針
2.	新すこやか未来アクションプラン(H27~ H31)において既に実行予定としている	<u>石山</u> 、第二中野山、白山、敷島、長嶺、 <u>内野</u> 、上五十嵐
3.	地域別実行計画において既に検討を開 始している	かやま、すみれ、太田、若葉、 <u>ことぶき</u> 、 <u>坂井</u>
4.	利用 児童数が20人未満 (児童福祉法上 の認可保育所定員の下限)	新飯田
5.	近隣に 民間保育施設 ができるため、 受 け入れの可能性がある	山の下、古川

※下線は、「1既に耐用年数を超過している施設」にも該当

石山保育園の状況について

- 〇 石山保育園については、築55年(木造)であり、**老朽化**が進んでいるとともに、**駐車場不足**という課題を抱えている。(上記1.2.に該当)
- 一方で、施設近隣には、認定こども園の新設(保育定員90名)が予定されているなど、**在園 児の受入を一定数見込める状況にある**。(上記5.に該当)



石山保育園の閉園について(案)

(1) 閉園にかかる基本的な考え方

〇 閉園時期は、在園児への影響を最大限配慮し、公表年度から概ね3年後の年度 末を目途とする。

【理由】3歳以上児の保育の継続性(卒園まで在籍可能)、3歳未満児の転園のしやすさに配慮

〇 公表翌年度の新規受入は原則0~1歳児のみとし、翌々年度4月以降は原則停止 する。

【理由】保育の継続性及び低年齢児の保育ニーズに配慮

〇 公表後、転園等により、在園児が20人未満となった場合、在園児保護者の理解を 得た上で、閉園を早める場合がある。

【理由】保育所の基準(20人以上)を満たさないため

(2)公表から閉園までの基本スケジュール

R 2年度	R 2 年度 R 3 年度		R 4 年度 R 5 年度	
R4.4開設代替園 等整備計画決定	公表(9月)※1	受入縮小※2	受入停止※3	閉園(3月)

- ※1 R4.4の入園募集情報にて、閉園予定時期、募集停止時期を公表
- ※2 新規入園については、原則、0~1歳児かつ在園児童の保育提供体制の範囲内でのみ受入
- ※3 原則、新規入園は受け付けない。
 ただし、在園児のきょうだいのほか、通常の利用調整等の結果、他に受入先がないなど、特別に配慮すべき児童等については、柔軟に対応

閉園までの在園児数推移(見込み)

令和3年6月時点

年齡	O歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人数	3	8	12	18	14	12	67

各年度在園児数見込み

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年4月 (転園)
	0歳(3人)	→ 1歳(3人)	▶ 2歳(3人) -	→ 3歳(3人)
0歳(3人)	→ 1歳(9人)	→ 2歳(9人)	→ 3歳(9人)	→ 4歳(9人)
1歳(8人)	→ 2歳(8人)	→ 3歳(8人)	→ 4歳(8人)	→ 5歳(8人)
2歳(12人)	→ 3歳(12人)	→ 4歳(12人)	→ 5歳(12人)	
3歳(18人)	→ 4歳(18人)	→ 5歳(18人)		
4歳(14人)	→ 5歳(14人)			
5歳(12人)				
67人	64人	50人	32人	20人

年度途中の入園及び転園は考慮していない R4年度の0~1歳児の入園児数は見込み

(参考)東区石山地区周辺 教育・保育施設 位置図

● 公立保育園

私立保育園

【凡例】

私立認定こども園

認可外保育施設

※W:木造(カッコ内の数字はR2時点での築年数)

